

令和 6 年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立廿日市小学校	校 長	中谷 一志	生徒指導主事	向井 千代子
取組事例名	『150 周年の学校をみんなの力で盛り上げよう！』				

1 取組の 設 定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
本校は、学校教育目標を「自ら学び ともに伸びる」とし、児童の「自立・協働・挑戦」を目指した教育活動を行っている。創立 150 周年を迎えた今年度は、6 年生及び各委員会に 150 周年ならではの取組を企画・運営させることにより、児童主体で学校を盛り上げるとともに、児童自身に 150 年の歴史と今後どうあるべきかを考えさせることをねらいとして取組を設定した。	○社会参画 150 周年を迎えた学校や地域の歴史を振り返るとともに、廿日市小学校を誇りに思い、今、自分にできることを考え、行動する。【自立】【挑戦】 ○自己実現・人間関係形成 学級・学年集団や委員会の中で主体的に考え、自分の役割を果たし、仲間と協力して活動する。【自立】【協働】



2 展 開

取組の 具 体 的 内 容	取組の 創 意 工 夫
○150 周年記念式典における 6 年生の発表 「150 周年 私達の絆でつなぐ廿日市小学校」  ○150 周年記念学習発表会における 6 年生児童の運営 ・プログラム作製、全校合唱の練習、当日の準備・進行等 ○各委員会による取組 ・児童委員会「廿小 150 周年記念スタンプラリー大会」  ・体育委員会「150%出し切り、優勝をめざせ！廿小玉入れ大会」 ・掲示委員会「150 周年ポスターの作製」「150 周年折り紙プロジェクト」 ・給食委員会「150 周年に関連した給食新聞」の作製  ・図書委員会「150 周年記念キャラクター」の募集 ・保健委員会「150 周年を元気に安全に過ごそうプロジェクト」 ・緑化委員会「150 の苗と球根を植えて学校を花いっぱいになろう」 ・放送委員会「キラキラ（いいこと）を 150 こ見つけて放送しよう」 ・美化委員会「150 周年の学校をきれいにしよう」 ・生活向上委員会「さがせ 150 人のあいさつ名人」   	児童にめあてをもたせるために ・1 学期始業式において、学校長から「今年は創立 150 周年の記念すべき年である」「みんなの力で学校を盛り上げてほしい」との投げかけがあった。 ・高学年児童に対して、学年集会や委員会活動において「150 周年の今年やりたいこと」のアイデアを募集した。 児童の意欲を高めるために ・委員会活動においては、初めて「委員長会議」を行い（学期に 1 回）、各委員会の活動報告や質疑応答、行事日程の調整を行った。 ・各委員会の取組を発信し、全体に周知して全校の取組とするための広報活動（ポスター・放送・学級訪問）を工夫して行われた。 児童の頑張りを認め、価値付けるために ・150 周年記念式典・学習発表会後に保護者や地域の方からメッセージをもらい、全てのメッセージを掲示するとともに、昼の放送でも紹介した。 ・委員会の取組については、日々の声かけや低学年からの感想等を委員会で伝えとともに、学校だよりや生徒指導だよりで紹介した。 



3 成 果 と 課 題

・各委員会が様々なアイデアを出し、児童が主体となった活動を年間を通して行い、児童の力で創立 150 周年を盛り上げることができた。 ・6 年生は、学習発表会の運営・裏方を担当したが、大雨が降る中、屋根のない通路で自分は濡れながら、保護者・地域の方、低学年児童に傘を差し向ける姿も見られた。そんな 6 年生に対して感謝のメッセージも多く寄せられた。 ・校内適応指導教室の児童は、委員会への参加は難しかったが、150 周年記念のロゴマークをお花紙で大きく作り、校内に掲示した。そのことが自己有用感につながったと思われる。 ・全校児童アンケートで「地域のよさに気づき地域のためにできることを考えた」と回答した児童は 7 月・12 月ともに 89%であったが、「たいへん」と回答した児童の割合が 3 ポイント増加した。 ・全校児童アンケートで「クラスみんなや学校の役に立っている」と回答した児童は、7 月：80%→12 月：82%と増加したが、高学年児童では大きな変化はなかった。高学年児童に対する評価の場の工夫が今後必要である。	
---	---